

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式。

①研究課題名	新潟大学整形外科教室に保存された 1926 年（大正 15 年・昭和元年）入院診療録の歴史疫学的研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学整形外科教室に保存されている 1926 年（大正 15 年・昭和元年）の入院診療録およびこれに付随する資料に診療情報が記録されている方を対象とします。	
③概要	
新潟大学整形外科教室には、教室創設以来作成された歴史的な診療録が保存されています。1926 年（大正 15 年・昭和元年）の入院診療録は、約 100 年前の疾患構成、患者背景、診断、治療、手術および転帰を直接記録した貴重な一次資料です。 本研究では、教室が行う歴史資料の整理・保存・電子化事業によって作成された電子化資料を用い、1926 年の入院診療録から患者背景、診断名、治療内容、手術内容、入院期間、転帰等を抽出して解析します。これにより、100 年前の整形外科入院診療の実態を明らかにします。 本研究のために新たな検査や診療を行うことはありません。研究成果は、個人が特定されない形で学会や学術雑誌に公表します。 本研究への情報利用を希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。研究への不参加を申し出たことによる不利益はありません。ただし、既に個人を特定できない形で解析済みまたは公表済みの場合には、情報を除外できないことがあります。。	
④申請番号	2026-0097
⑤研究の目的・意義	1926 年（大正 15 年・昭和元年）の入院診療録から、当時の患者背景、疾患構成、治療内容、手術、入院期間および転帰等を解析し、約 100 年前の整形外科入院診療の実態を明らかにすることを目的とします。 本研究により、学会誌や教科書のみでは把握できない日常診療の実態を数量的に示し、我が国における整形外科診療の歴史的変遷を検討するための基礎資料を提供します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2029 年 3 月 31 日まで。
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	1926 年の入院診療録および付随資料を電子化し、患者背景、診断名、治療内容、手術内容、入退院日、入院期間、転帰等を抽出して研究用データベースを作成します。 診療録原本の整理、電子化画像の閲覧・解読および研究用データベースの作成は、新潟大学内で行います。判読困難な手書き文字、旧字体、外国語表記等については、OCR および AI による文字認識・解読補助技術を利用する場合があります。個人識別情報を含む原画像は、外部へのデータ送信を伴うサービスには入力しません。 共同研究期間の新潟医療福祉大学には、氏名、患者番号、詳細な住所等の直接識別子を除去し、研究に必要な項目に限定した解析用データのみ

	を提供します。診療録原本、未加工の電子化画像および原資料との対応関係を示す情報は提供しません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療録、手術記録、手術簿、紹介状、写真資料、スケッチ、研究会資料 その他関連資料に記載された情報
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学大学院医歯学総合研究科 フレイル予防のための運動器科学講座 古賀 寛 共同研究機関： （共同研究機関名）新潟医療福祉大学 （所属・職名・氏名）健康スポーツ学科助教 森清友亮 研究の実施に必要な範囲で、研究責任者、研究分担者および共同研究者が利用します。
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	原則として研究責任者の所属、職名、氏名を記載してください。 新潟大学大学院医歯学総合研究科 フレイル予防のための運動器科学講座 古賀 寛 共同研究機関：新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科助教 森清友亮
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科フレイル予防のための運動器科学講座 氏名：古賀寛 Tel：025-227-2272 E-mail：hiroshi-koga@med.niigata-u.ac.jp